

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第23週の発生動向

全数報告の感染症 (23 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：報告なし。5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	50 歳代	男	結核性ぶどう膜炎	画像所見
			50 歳代	男	無症状病原体保有者	—
		延岡	50 歳代	女	無症状病原体保有者	—
		日向	10 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60 歳代	男	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日向	40 歳代	男	無症状病原体保有者	O6(VT1産生)
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20 歳代	男	無症状病原体保有者	—

定点把握の対象となる 5 類感染症

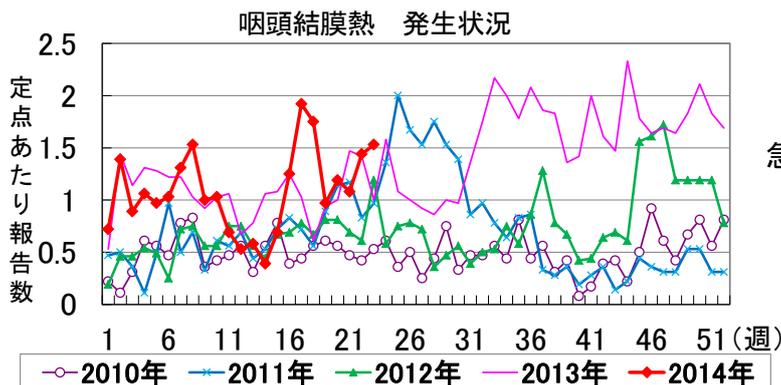
・定点医療機関からの報告総数は 851 人 (定点あたり 24.5) で、前週比 90%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱とヘルパンギーナであった。減少した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

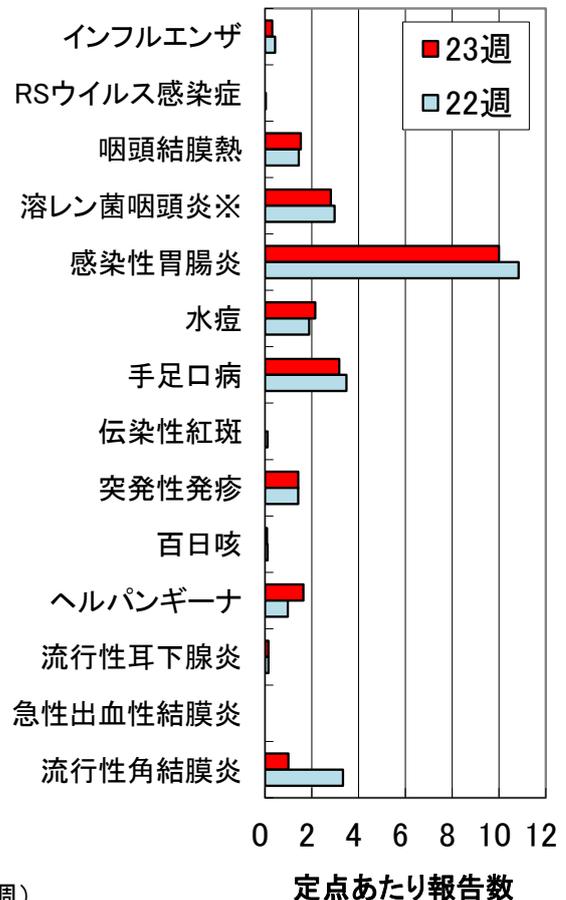
【咽頭結膜熱】

・報告数は 55 人 (1.5) で前週比 106%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (0.8) の約 1.8 倍であった。日南 (5.7)、中央 (5.0) 保健所からの報告が多く、年齢別では 6 ヶ月から 2 歳が全体の約半数を占めた。

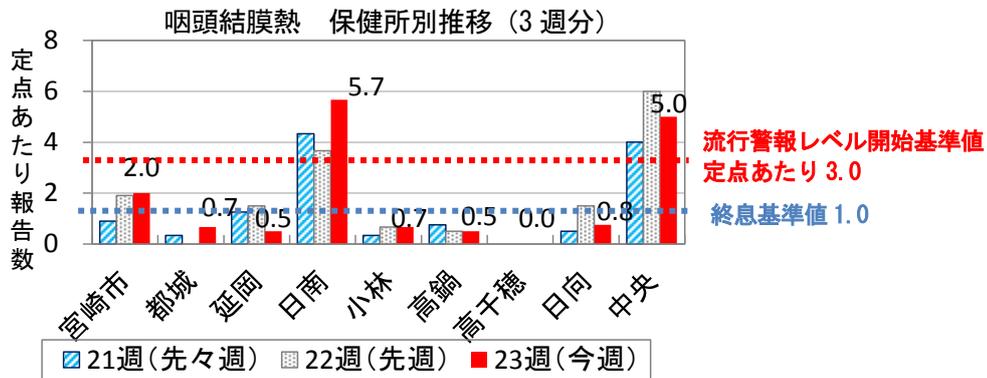
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



《前週との比較》

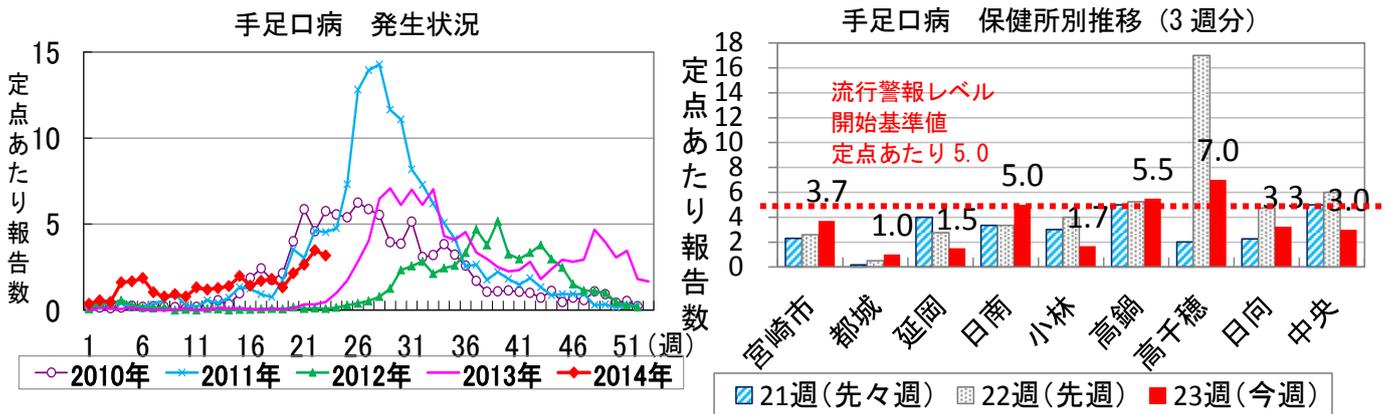


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



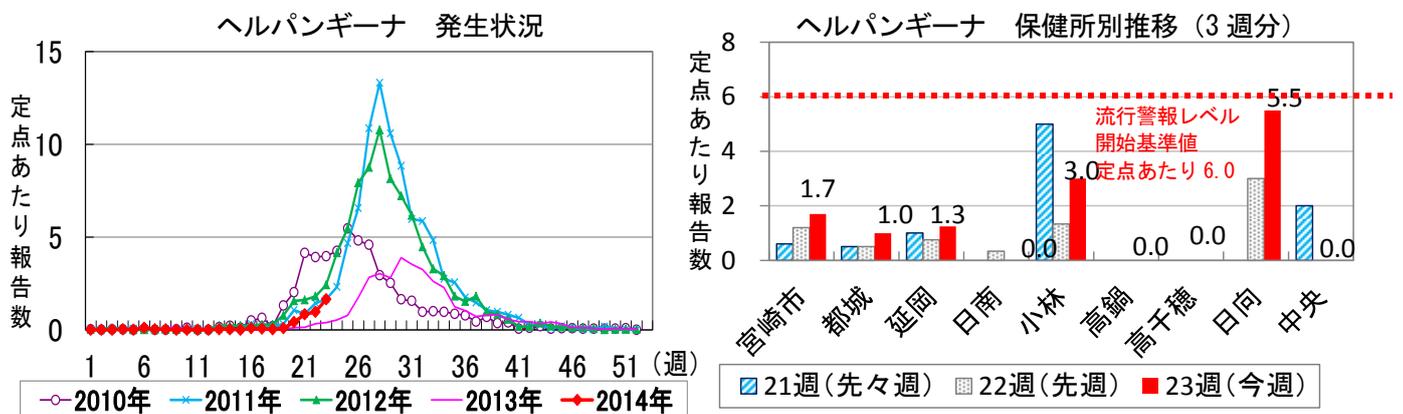
【手足口病】

・報告数は114人(3.2)で前週比91%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(2.3)の約1.4倍である。高千穂(7.0)、高鍋(5.5)、日南(5.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から2歳が全体の約6割を占めた。



【ヘルパンギーナ】

・報告数は59人(1.6)で前週比169%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(2.1)の約0.8倍である。年齢別では1から2歳が全体の約7割を占めた。



★流行警報レベル開始基準値超過疾患★

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(5.7)、手足口病(5.0)
小林	なし
高鍋	手足口病(5.5)
高千穂	手足口病(7.0)
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(5.0)

流行警報レベル開始基準値

・咽頭結膜熱(3.0)

・手足口病(5.0)

★基幹定点からの報告★

感染性胃腸炎（ロタウイルス）：宮崎市保健所管内から1例、都城保健所管内から1例報告された。
患者はいずれも2歳で、群別不明。

📊 全国第22週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第22週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	441例				
3類感染症	細菌性赤痢	2例	腸管出血性大腸菌感染症	32例	腸チフス	2例
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	つつが虫病	7例	デング熱	3例	日本紅斑熱	5例
5類感染症	レジオネラ症	20例				
	アメーバ赤痢	15例	急性脳炎	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例
	後天性免疫不全症候群	18例	ジアルジア症	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	28例	梅毒	21例	破傷風	2例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2例	風しん	4例	麻しん	5例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比98%と横ばいであった。今週増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

手足口病の報告数は1,047人(0.33)で、前週比132%と増加した。宮崎県(3.5)、大分県(2.9)、熊本県(2.1)からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は1,137人(0.36)で、前週比144%と増加した。熊本県(3.3)、山口県(1.5)、佐賀県・大分県(各1.4)からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約6割を占めた。

■ 月報告対象疾患の発生動向 <5月>

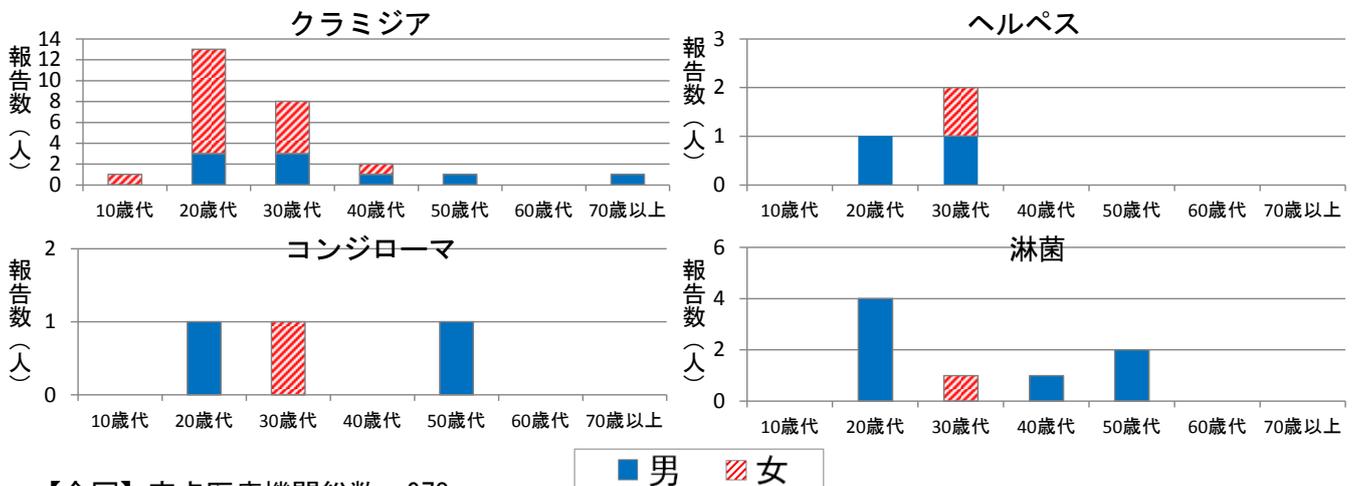
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は40人（3.1）で、前月比105%と増加した。また、昨年5月（3.5）の約9割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数26人（2.0）で、前月の約1.1倍、昨年5月の約9割であった。20歳代が全体の約半数を占めた。（男性9人・女性17人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人（0.23）で、前月と同程度、昨年5月の約4割であった。（男性2人、女性1人）
- 尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、前月と同程度、昨年5月の約3倍であった。（男性2人、女性1人）
- 淋菌感染症：報告数8人（0.62）で、前月、昨年5月と同程度であった。20歳代が全体の約半数を占めた。（男性7人、女性1人）



【全国】 定点医療機関総数：978

定点医療機関からの報告総数は4,391人（4.5）で、前月比111%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,263人（2.3）で前月比111%、性器ヘルペスウイルス感染症766人（0.78）で前月比107%、尖圭コンジローマ486人（0.50）で前月比104%、淋菌感染症876人（0.90）で前月比117%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は26人（3.7）で前月比137%と増加した。また昨年5月（3.4）の約1.1倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人（3.4）で、前月の約1.3倍、昨年5月と同程度であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人（0.29）で、前月、昨年5月の約2倍であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：476

定点医療機関からの報告総数は1,705人（3.6）で、前月比99%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,463人（3.1）で前月比98%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症219人（0.46）で前月比102%、薬剤耐性緑膿菌感染症23人（0.05）で前月比167%、薬剤耐性アシネトバクター感染症は報告がなかった（前月定点あたり0.01）。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第23週(06月02日～06月08日)

疾病名		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	25	18	6			1	11				
	定点あたり	0.42	0.31	0.38	0.00	0.00	0.20	2.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	52	55	20	4	2	17	2	2		3	5
	定点あたり	1.44	1.53	2.00	0.67	0.50	5.67	0.67	0.50	0.00	0.75	5.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	107	101	16	20	16	3	4	7	6	29	
	定点あたり	2.97	2.81	1.60	3.33	4.00	1.00	1.33	1.75	6.00	7.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	390	360	78	76	60	30	52	27	3	30	4
	定点あたり	10.83	10.00	7.80	12.67	15.00	10.00	17.33	6.75	3.00	7.50	4.00
水痘	報告数	68	77	20	13	14	2	14	7		7	
	定点あたり	1.89	2.14	2.00	2.17	3.50	0.67	4.67	1.75	0.00	1.75	0.00
手足口病	報告数	125	114	37	6	6	15	5	22	7	13	3
	定点あたり	3.47	3.17	3.70	1.00	1.50	5.00	1.67	5.50	7.00	3.25	3.00
伝染性紅斑	報告数	4										
	定点あたり	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	51	51	17	13	6	1	5	4		3	2
	定点あたり	1.42	1.42	1.70	2.17	1.50	0.33	1.67	1.00	0.00	0.75	2.00
百日咳	報告数	4	3				1	1			1	
	定点あたり	0.11	0.08	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	35	59	17	6	5		9			22	
	定点あたり	0.97	1.64	1.70	1.00	1.25	0.00	3.00	0.00	0.00	5.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	5	1		2					2	
	定点あたり	0.14	0.14	0.10	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	20	6	6								
	定点あたり	3.33	1.00	2.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1	2	1	1							
	定点あたり	0.14	0.29	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

※第22週の報告数に一部修正があります。

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～23週)

2類感染症	結核	86例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	8例(1)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	7例
	つつが虫病	5例	日本紅斑熱	1例	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	3例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	5例
	梅毒	6例	破傷風	1例	風しん	1例
	麻しん	3例				

()内は今週届出分、再掲